



ひかいのこ

2024年度 **夏号 (7・8月)**

日本キリスト教団

名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)

名古屋市西区天神山3-7 Tel.052-531-1820

ホームページ: [名古屋新生教会](#)

ホームページ掲載用修正版

今年の名古屋（東海地方）の梅雨入りは平年よりも半月ほど遅い6月21日頃でした。梅雨明けは平年並みの7月19日頃になるだろうという予報もあります。ということは…、梅雨の期間が短い！ですが、梅雨の期間の降水量は平年並みという予報もあります。ということは…、一度に降る雨の量が多い！ということです。ここ数年のように雨の降り方が極端で、「局地的豪雨」や「線状降水帯」が心配です。

能登半島地震から半年。能登半島では地震の被害から状況が変わっていない、壊れた建物もそのまま、屋根や天井が壊れて雨漏りする家もそのまま、そういった被災地が多くあります。山の斜面などでは地盤が緩んでいるところもあります。仮設住宅で暮らしている人もいます。避難所での生活が続いている人もいます。畑のビニールハウスで避難生活している人もいます。局地的な大雨は私たちにとっても心配ですが、被災地でさらなる被害が出ないことを切に祈ります。

7・8月の礼拝 単元11: 神の子イエス③

📖…お話 🎵…奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中学生) 9:00~9:30	プレイ・タイム (小学生/中学生) 9:35~9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~10:20
7月7日	嵐を静める	マルコによる福音書 4:35-41	📖 武岡 基 🎵 武岡路実		📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
7月14日	ヤイロの娘の癒し	マルコによる福音書 5:21-43	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ		📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
7月21日	5000人の給食	ヨハネによる福音書 6:1-15、6:22-40	📖 安達正樹 牧師 🎵 安達いづみ		📖 安達正樹 牧師 🎵 安達いづみ
7月28日	水の上を歩く	マタイによる福音書 14:22-33	📖 武岡 基 🎵 武岡路実		📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
8月4日	カナン人の女性の信仰	マタイによる福音書 15:21-28	📖 武岡 基 🎵 武岡路実		📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
8月11日	ベトザタの池で (「成長」2023年10/29)	ヨハネによる福音書 5:1-16	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ	(午後) CSミニ夏まつりⅠ	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
8月18日	金持ちの青年 (「成長」2022年2/20)	マルコによる福音書 10:17-31	📖 安達正樹 牧師 🎵 安達いづみ		📖 安達正樹 牧師 🎵 安達いづみ

単元12: モーセ

8月25日	モーセの召命	出エジプト記 2:11-4:31	📖 堤 砂里奈 🎵 武岡路実	(午後) CSミニ夏まつりⅡ	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
-------	--------	---------------------	-------------------	-------------------	-------------------

○夏休み中も、礼拝はいつもどおりです

◆ティーンズ礼拝（小4～中学生） 9：00～（プレイ・タイムはありません）

◆こどもれいはい（幼児～小3） 10：00～

礼拝後にCS館（ふたば館）で気分転換してもらっても構いません。

宿題を持ってきて自習するのもよし、友だちと語るのもよし、遊んでもよし…

夏のプログラム！

○CS サマーキャンプ2024 8月16日（金）～17日（土）

1泊2泊のキャンプ、復活です！詳しくは別紙「参加申込用紙」をご覧ください。

■行き先：田瀬教会（岐阜県中津川市）…マイクロバスに乗って行きます。

■集合：16日（金）8:30 / 解散：17日（土）18:00

■参加費：小学生…3,000円 中学生～大人…4,000円



○CS ミニ夏まつり 8月11日（日）・25日（日）の午後（詳しくは別紙「特別号」をご覧ください）

8月11日（日）第1部 礼拝堂で「映画を見よう！」 「風が吹くとき」（1986年イギリス/81分/日本語吹替版）
…教会の大人も一緒に参加します。

8月25日（日）第2部 保育園の屋上で「水遊びをしよう！」

…小学生向けの行事ですが、中学生も大歓迎！



7・8月の聖句

でし ひじょう おそ
弟子たちは非常に恐れて、
「いったい、この方はどなたなのだろう。風や 湖 さえも 従うではないか」と互いに言った。
(マルコ4:41)

7・8月のさんびか

こどもさんびか 61（ガリラヤのむらを） 讃美歌21…105

これまで旧約聖書『創世記』から「ヤコブとヨセフ」について学んできました。7月からの礼拝では「イエスさまの歩み」について学びます。いろいろな物語から、今月の聖句にもあるように「イエスさまってどんな方？」「実際のイエスさまと共に過ごした弟子たちが驚く！ってどんなこと？」そんな疑問を持って考えてみましょう。後半の8月では、また旧約聖書に戻って『出エジプト記』の「モーセ」について学びます。

今月のさんびか61「ガリラヤのむらを」は、『讃美歌第二編』（1967）に収録されていた同名の賛美歌を口語で改訳したものです。もともと「ある夏の日に」とつけられた英語原歌詞は「子どもを祝福するキリスト」（マタイ19:13～15）に基づいて書かれました。

作詞者は、イギリスの神学者で文学者のストップフォード・A・ブルックさん（1832-1916）です。彼はアイルランドで生まれ、首都ダブリンのトリニティ大学で学んだ後、イギリス国教会の聖職者になりました。ドイツのイギリス大使館付チャプレンを務め、1867年にはヴィクトリア女王に仕えました。

作曲は、イギリスの教会音楽家ヘンリー・W・デーヴィスさん（1869-1941）指導の下でウェールズ大学の学生グループによって作曲されました。指導者・責任者としてデーヴィスさんの名前が作曲者となっています。彼は、聖ジョージ礼拝堂の聖歌隊員として音楽教育を受けた後、イギリス王立音楽学校で学びました。その後、音楽理論の教師として務め、いくつかの教会オルガニストを歴任した後、1926年にはウェールズ大学の音楽教授、1934年には王室音楽家となり、多くの教会用合唱曲集や賛美歌集を編纂しました。

この賛美歌の日本語訳は、英語原詞ではもともと8節ほどあった歌詞をもとに、『讃美歌21』『こどもさんびか改訂版』での口語訳改訂に伴って5節にまとめ直されました。『讃美歌第二編』にはなかった、イエスが子どもたちを祝福する場面が聖書の記述に沿って5節目として加えられました。キリストを慕って集まる子どもたち同様に大人も祝福に招かれているのだというメッセージがより明確になり、口語訳によって物語のイメージも鮮明になりました。

子どもから大人まで歌える賛美歌ですので、子どもと大人と一緒に礼拝をする合同礼拝や子どもを招いた祝福式など、幅広く歌える賛美歌です。



おたんじょうびおめでとう🎂

7・8月生まれのお友だち